川口市立医療センター広報紙







Kawaguchi Municipal Medical Center









▲医療用ピクトグラム

特集

インフルエンザへの備えは?

p2~p3

目次

- p 3 自動精算機導入へ
- p 4 部署紹介: **眼科**
- n 5 病院の取り組み: 医療用ピクトグラム導入
- p 6 KMMC Report: 2012 クリスマスコンサート
- p 6 病院Q&A
- p 7 KMMC Report: 医療安全週間
- p 🕜 医師の交代のおしらせ
- p 🚷 四季の移ろい:正月七福神巡り
- p (8) ミニギャラリー3ヶ月





インフルエンザへの備えは?

Q.1 インフルエンザと普通の風邪はどう違うのですか?

普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、重症化する ことはあまりありません。一方、インフルエンザは、風邪の症状に加えて、38℃以上の発熱、

頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突 然現れます。

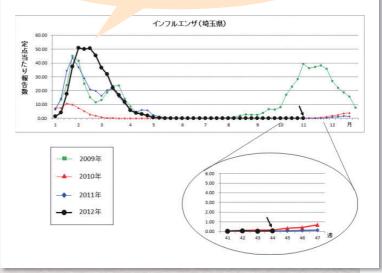
Q.2 インフルエンザの治療薬には どのようなものがありますか?

インフルエンザに対する治療薬としては、現在5種類の抗インフルエンザウィルス薬があります。

現在主流なのが、1)オセルタミビルリン酸塩(商品名:タミフル)/内服、2)ザナミビル水和物(商品名:リレンザ)/吸入などです。その他、3)アマンタジン塩酸塩(商品名:シンメトレル)/内服、4)ペラミビル水和物(商品名:ラピアクタ)/点滴、5)ラニナミビルオクタン酸エス

【埼玉県のインフルエンザ流行状況】

例年 12 月~3 月に流行し、 昨年のピークは 2 月~3 月に見られた



テル水和物(商品名:イナビル)/吸入、等があります。

ただし、その効果はインフルエンザの症状が出はじめてからの時間や病状により異なりますので、使用する・しないは医師の判断になります。

抗インフルエンザウィルス薬の服用は、発症から48時間以内に開始することが大事で、 症状が出てから2日(48時間)を過ぎて服用を開始した場合は、十分な効果は期待できません。

Q.3 インフルエンザワクチンはどの程度効果があるのですか?また、予防接種を受けたのに インフルエンザにかかったことがあるのですが、ワクチンは効果があるのですか?

ワクチンの発症を抑える効果については一定程度認められており、65歳未満の健常成人で、70~90%の発症予防効果があるとの報告があります。

しかし、最も重要なことは、肺炎などの合併症を予防することです。

O.4 インフルエンザ予防接種はいつ頃受けるのがよいですか?

ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、毎年12月中旬までにワクチン接種を受けることが望ましいと考えられます。

Q.5 インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか?

- 1)流行前のワクチン接種
- 2) 外出後の手洗い等
- 3) 適度な湿度の保持(適切な湿度50~60%)
- 4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 5)人混みや繁華街への外出を控える

Q.6 インフルエンザの迅速検査について?

インフルエンザの検査キットは、ウィルスの量に反応して結果が出るものです。仮にイ ンフルエンザに罹っていたとしてもまだ初期の微熱の段階ではウィルス量が少なく検査結 果は陰性と出ることがあります。できれば、高熱が出てから24時間経過後に検査を受ける ことをお薦めします。

迅速検査で陰性だったとしても、臨床症状や流行状況を考慮したうえでインフルエンザ と診断する場合があります。発症後48時間以内なら効果のある抗インフルエンザ薬を処方 することになります。

引用文献:厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/ga.html



自動精算機導入へ

医療センターでは平成25年5月より 会計表示システム及び医療費自動精算 機の導入を予定しております。導入後は 従来のようにお名前ではなく、番号札を 使用してのご案内となります。

ご理解とご協力をよろしくお願い申 し上げます。

診療費ご精算の流れ

- ①会計ファイル受付時に専用の番号札をお渡 します。
- ②計算終了後、ディスプレイに番号が表示さ れます。
- ③ご自分の番号が表示されましたら自動精算 機にて診療費のご精算をお願いします。



眼科





外来診療は、医療センターと本町診療所それぞれで行っており、かかりつけ医からの紹介による診療・手術を積極的に行っております。手術は本町診療所の医師と共に医療センターで実施しており、年間1,150件にのぼっております。

「かすむ」、「歪んで見える」、「蚊が飛んでいるように見える」など、見え方が悪くなったときや、その他眼科全般の症状、健康診断などで精密検査が必要と言われた方、かかりつけの眼科クリニックで精密検査や手術が必要と紹介状をお持ちになって受診される方などの、眼に関する様々な病気の診療を行っております。

診療は医療センターと本町診療所の2か所で行っており、医療センターは医師3名、本町診療所は医師2名です。手術や入院治療は医療センターで行っていますが、本町診療所の医師も医療センターで週に一度手術を行っておりますので、スムーズに入院治療や手術を受けることができます。

手術に関しては、白内障、網膜剥離、糖尿病網膜症、硝子体出血、翼状片、眼瞼内反症、眼瞼下垂などの手術を行っております。現在白内障手

術は年間約1,000件、網膜剥離や硝子体手術は 年間約150件を施行しています。お近くの眼科 クリニックから紹介され受診された方は、術後 落ち着き次第、また紹介元のクリニックに通院 していただくことができます。

また、精密検査の結果、高度専門医療機関への受診が望ましい病気の場合は、大学病院などへの紹介も行っております。

目の病気には、特に見えにくくなった場合に 早めに治療を行わないと治りにくいものもあり ますので、何か症状がある場合には早めの受診 をお勧め致します。

* スタッフの数に限りがあるため、外来は混んでいる時が多く、大変お待たせすることも多いと思いますが、順番に必要な検査、診察をさせていただいておりますので、何卒ご了承ください。尚、角膜移植、 涙道の手術、加齢黄斑変性に対する光線力学的療法 (PDT) は行っておりません。

病院の取り組み

ベッドサイドで情報の共有化へ!

医療安全チーム

医療安全チームは多職種で構成されている 医療安全に関して取り組みをしているチーム です。

今回は、医療用ピクトグラムを用いた情報 共有の取り組みをご紹介します。

ピクトグラムとは、「絵ことば」、「絵文字」と 訳され、代表的なものに非常口やトイレのサインがあります。見た人が分かる共通のマークです。この絵文字である「ピクトグラム」を 医療用として開発されたものが医療用ピクトグラムです。

患者さんに関わるすべての医療スタッフや ご家族の方が、治療上制限されていることや、 禁止事項をベッドサイドで情報を共有し、より安全な環境を提供することを目的に導入しました。当院で使用しているものは、6項目(移動、姿勢(安静度)、食事、飲み物、処置、排泄)18種類です。掲載の写真が実際に使用している様子です。ピクトグラムはベッド頭側の照明部分に貼られます。代表的なピクトグラムを下に示してあります。

入院した際、または、ご家族が入院した際には、ベッドサイドに表示してある医療用ピクトグラムを見ていただき、安全で安心した医療が受けられるようご協力をお願いいたします。



左上から

- ●採血・点滴等処置が必要な場合、右を使ってはいけません。
- ●飲み物の摂取量を計測しています。
- ●車いすでの移動はできます。
- ●飲み物、食べ物ともに召し上がれません。
- ●排泄はポータブルトイレを使ってください。

代表的なもの





歩く際には歩行器を必ず用 いてください



夕食禁止

夕食を召し上がることはで きません(夕食は出ません)



45° 学上可

ベッド上安静ですが、45°まで ベッドをあげることができます



定時採血

決まった時間に採血があり ます

2012 クリスマスコンサート

12月21日(金)の17時から中央待合ホールにおいて恒例のクリスマスコンサートが開催され、入院患者の皆さまやご家族の方々、職員など199名の聴衆が集まりました。

コンサートは、女性合唱団「四葉会」の歌唱やボランティアの方々によるピアノやファゴットの演奏、テノールの独唱などに加え、医療センター職員有志による混声合唱とハンドベルの演奏も行われました。また、ガチャピンやスティッチに扮した職員が皆さまに笑顔をふりまき、サンタクロース姿の栃木病院事業管理者から会場の皆さまにプレゼントが配られるなど会場はクリスマスムードで大いに盛り上がりました。

コンサートは1時間近くにわたって行われ、「もろびとこぞりて」や「ジングルベル」などのお馴染みのクリスマスソングのほか、東日本大震災被災地の復興を応援する「花は咲く」などの曲目が演奏され、最後は「きよしこの夜」を会場の皆さまと出演者全員で合唱し終了となりました。





メッセージボックスに寄せられた皆さまの 疑問およびご意見を Q & A としました。

ご理解・ご協力をお願い致します。

Q】 駐車場の料金を無料にすることはできないのですか?

当センターは地方公営企業法の適用を受けており、経営的には独立採算制をとっています。駐車場管理には年間相当額の維持・管理費が必要となってきます。そのために無料化は考えておりません。

Q2 いつも診察してもらう先生に診てもらいたい場合はどうすればいいのですか?

軽症の場合は、ご近所のかかりつけ医におかかりください。その上で必要があれば紹介状を書いてもらえば、患者の皆さまご自身で当院の予約を取る事ができます。その際に以前に診療を受けた事がある医師に診察してほしいという希望があれば、その医師の診察日に併せて予約をお取りください。基本的に外来担当日以外では医師は、入院患者さんへの対応、各種検査、手術などを行なっておりますので、外来診療は行ないません。

医療安全週間

当センターでは質の高いかつ安全な医療を提供するため に、クオリティマネジメント室を設置しています。クオリ ティマネジメント室には診療・看護全体に関わる機能別に

8チームが所属し、各専門チームが現場を支援して医療の質を高める努力を行っています。その活動内容・取り組みを広く職員、患者の皆さまに知っていただくため医療安全週間としてイベントを開催しています。 医療安全週間は例年10月3~4週目に設定していますが、本年は都合により11月12日から2週間にわたって実施しました。今回は所属8チームのなかから5チームが展示を行いました。概要は以下の通りです。

安全対策チーム

「患者名前確認」という事で、患者間違いを防ぐために患者の皆さまにフルネームで名乗っていただくことをお願いいたしました。

感染対策チーム (ICT)

「食中毒予防」という事で、感染性胃腸炎やノロウイルス感染症などについて、基本的な予防方法や対応を説明いたしました。

栄養管理チーム(NST)

入院された患者さんかたの栄養状態をできる限りよい状態で 入院生活をおくれるようにサポートするチームで、そのサポー ト内容について説明いたしました。

褥瘡対策チーム

褥瘡(床ずれ)が起きないように、予防するためのスキンケアを含めた対応策を示しました。

緩和ケアチーム

がん診療拠点病院としての取り組みを紹介しました。緩和ケア外来も始まりましたが、対象となるのは当センターでがん治療を受けられている方となっています。

医師の交代のおしらせ

新任



海老原 貴之 10月1日付 整形外科 医長 脊椎・脊髄外科、外傷、小児整形が 専門です。



タカ ダ **高田 能行** 10月1日付 **脳神経外科 医長** よろしくお願いします。

よろしくお願いします。



スズキ **鈴木** 麗 10月1日付 **整形外科 医師** 膝が痛いなど何かお困り の事がありましたらご相 談ください。 よろしくお願いします。



富塚 孔明10月1日付 **整形外科 特別研修医**整形一般を担当します。よろしくお願いします。



鈴木 康之 12月1日付 **循環器科 医長** 川口市の循環器医療に貢献できる 様、全力を尽くします。

退任

茂呂 修啓 9月30日付 脳神経外科 医長 小島 敏雄 9月30日付 整形外科 医師 上田 修平 9月30日付

循環器科 副部長 約10年間医療センターで診療 させていただきました。 ありがとうございました。

野本 和幹 11月30日付

 上田 修平 9月30日付
 角 光

 整形外科 特別研修医
 脳袖経外

角 光一郎 12月31日付 **脳神経外科 医師**

四季の移るいる。

正月七福神巡り

皆さまはお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか?大晦日から元旦にかけての初詣(東北地方では元朝参りといわれます)にいかれましたか?

近年正月7日あるいは2週間程度の間に七福神巡り(恵比寿、大黒、毘沙門天、弁財天、福禄寿、寿老人、布袋をまつる社を順に回る縁起を呼ぶためのお参り)が盛んになってきています。川口市においても「武州川口七福神」があります。埼玉県内では秩父、川越など13ほどの七福神巡りがあります。所用時間としては2時間程度のも

のから、4~5時間ほどかかるもの、歩いてまわれるものから車利用となるものなど様々です。

七福神巡りの楽しみはそれぞれの独自の神像でしょうか。土鈴でできていたり、繭玉だったり、あるいはこけしなどさまざまなものがあります。また表情も皆違っており、見比べるのも楽しいものです。そして2~3時間程度を歩くという運動にもなり、澄み切った青空の下、冷たい風はちょっとつらいけど、

「今年も無事に一年が 過ごせますように」との 願いを込めて回ってみ ませんか?まだ間に合 うところもあります。

気持ちよく歩けます。



ミニギャラリー3ヶ月

ミニギャラリーは平成22年度からスタートしたもので、1階中央通路と地下総合健診センター前に毎月1ヶ月単位で各種作品を展示し、患者さんや来院の皆さまから「心が和んだ、やさしい気持ちになれた。」などの感想が寄せられています。

10月は齋藤法子さんと遠山裕子さんの「レカンフラワー合同展」、11月は関口浩さんの「日本画展」、12月は鹿島寛さんの「アクリル画展」のシリーズでした。

レカンとはフランス語で宝石箱の意味で、自然の花の 退色を食い止め長く楽しむことが出来るため、色彩豊かなきれいな作品ばかりでした。日本画は静寂の中、月の 光がやさしく語らいかける、そんな自然の息づかいを美 しく表現していました。アクリル画は薄く溶いた黄赤青 の絵具が、混ざり合って予想を超えた色彩となり、作品 自体が何とも不思議な光を放っていました。

現在「写真展」を開催中ですが、2月は「大人の塗り絵」、3月は「押し花絵」の予定です。

なお、ミニギャラリーの展示内容は医療センターHP でもご覧いただけます。

◆レカンフラワー合同展 (10月) ◆



◆日本画展 (11月) ◆



◆アクリル画展(12月)◆



編集

3年ほど休刊してしまいましたが、今回、発行を再開する 運びとなりました。新年を迎えるのに合わせての第1歩です。 今後は季刊誌として発行していきます。病院職員と患者の皆 さまをつなぐ一つの手段としての紙面作りを考えて参りま す。ご愛読、よろしくお願いいたします。

発行責任者 川口市立医療センター 栃木 武一

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)

HP http://kawaguchi-mmc.org